

2012 年 7 月 24 日

住友三井オートサービス株式会社

諏訪赤十字病院 EV社用車（アイ・ミーブ）の活用で社会・環境貢献促進へ ～住友三井オートサービスよりリース導入～

諏訪赤十字病院（長野県諏訪市、院長：小口寿夫）は、住友三井オートサービス株式会社（本社：東京都新宿区、社長：佐藤誠、以下「住友三井オートサービス」）よりリースを通じて、電気自動車「アイ・ミーブ」1台及び電源供給装置「Mi EV power BOX」を社用車として導入しました。

諏訪赤十字病院は、長野県内において地域医療支援病院として、諏訪地域に住む方々が医療資源を最大活用できるよう活動しています。「赤十字精神のもと医療人としての倫理を守り信頼され、心のふれあう医療」を理念に掲げ、諏訪地域の基幹病院として医療・保健・福祉介護の提供を行い、地域に親しまれる施設運営を心掛けています。また、新たな価値を創造するためのイノベーション（改革）を起こし、“もっと心のふれあう医療の実践”“真に満足して頂ける病院づくり”を目指している病院です。

今般、諏訪赤十字病院では、企業の社会的責任として病院温暖化対策に取り組んでいるが、この度、諏訪地区の医療機関として初の電気自動車「アイ・ミーブ」を1台導入いたしました。電気自動車（以下「EV」）の活用により、排出ガスゼロ化を実現しエコ活動を通じて社会との共生を図る取り組みを行います。また、エンジン騒音の緩和により、近隣地域へ配慮、地域医療支援病院として地域貢献を目指すと同時に、電源供給装置「Mi EV power BOX」を常備。緊急・停電時に地域への供給も含めた、EVからの電源供給活用を行なえる事業インフラを整えます。同院は、災害拠点病院（長野県指定）として体制強化を築いておりますが、緊急・災害時の当地域における避難場所として更に機能性を充実させ社会貢献を目指しています。

住友三井オートサービスは、「クルマ社会の発展と地球環境の向上への貢献」を理念に掲げ、グリーン・フリート・マネジメント（Green Fleet Management）をキーワードに、EVをはじめとした環境志向の電動車両の普及に向けた取り組みの一環として、EV導入企業および導入を検討される企業へのサポートに積極的に取り組んでおります。EV導入前のコンサルタントからインフラ整備、導入後のメンテナンスまで、お客さまに快適・安全で、且つ効率的な車両管理体制構築に向けたワンストップサービスを早期からお客さまへ提供してまいりました。

今般、地域を代表する医療機関と連携し、社会・環境貢献活動を更に積極化するために、EV「アイ・ミーブ」を社用車両として導入する諏訪赤十字病院に対し、住友三井オートサービスでは、長年のEV導入実績と経験値を基盤に、諏訪赤十字病院のニーズに応じた、架装対応や補助金関連手続から導入後のメンテナンス対応迄、円滑な車両導入サポートを実施してまいります。

[今回導入される社用車両]



■ 本件に関するお問い合わせ先

諏訪赤十字病院 (URL: <http://www.suwa.jrc.or.jp/>)

〒392-8510 長野県諏訪市湖岸通り 5-11-50

担当 : 事務部 丸山 (マルヤマ)

電話 : 0266-52-6111

住友三井オートサービス株式会社 (URL: <http://www.smauto.co.jp/>)

〒163-1434 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル

担当 : 広報室 松木 (フナキ)、高橋 (タカハシ)

電話 : 03-5358-6634、03-5358-6669